

## 再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

<b>事業名</b> ：一般国道176号 <small>かねがさか</small> 鐘ヶ坂バイパス	<b>事業区分</b> ：一般国道	<b>事業主体</b> ：兵庫県
<b>起終点</b> ：自：兵庫県丹波市柏原町上小倉 至：兵庫県篠山市追入		<b>延長</b> ：2.65km
<b>事業概要</b> ：一般国道176号は、京都府宮津市を起点とし、大阪府大阪市に至る延長約177kmの幹線道路である。鐘ヶ坂バイパスは、丹波地方と阪神地域を結ぶ重要路線にあって、篠山市・丹波市境の峠部の線形不良区間の解消や防災対策など道路の安全性の確保を目的とした延長約2.7kmの2車線道路である。		
H 7年度事業化	都市計画決定なし	H 8年度用地着手
全体事業費：78億円		事業進捗率：92%
計画交通量：14,000 台/日		供用済延長：0km
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B / C</b> ： (事業全体) 1.7 (残事業) 34.9	<b>総費用</b> ：(残事業)/(事業全体) 4 / 81 億円 (事業費：4 / 81 億円 維持管理費：0.1 / 0.1 億円)
	<b>総便益</b> ：(残事業)/(事業全体) 141 / 141 億円 (走行時間短縮便益：132/132億円 走行費用減少便益：9 / 9 億円 交通事故減少便益：1 / 1 億円)	<b>基準年</b> ：平成16年
<b>事業の効果等</b> 安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる。） 災害への備え（緊急輸送道路ネットワーク計画及び兵庫県地域防災計画に位置づけがある。）他7項目		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 一般国道176号の鐘ヶ坂峠付近は急峻な地形を道路が通過しており、線形が悪く、法面崩壊による通行規制や交通事故が発生していることから、丹波市（旧柏原町）より早期整備の要望を受けている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b>		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 設備工事・舗装工事を残してほとんどの構造物が完成しており、平成17年度秋完成に向けた工事の実施が可能である。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> H17年度秋に完成の予定である。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 新鐘ヶ坂トンネルについて、支保パターンを細分化し、トンネルの条件に最も適合した支保構造を用いる等のコスト縮減を図った。		
<b>対応方針</b>		事業継続
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
<b>事業概要図</b>		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。